

# 高齢者実態調査結果の概要 (速報値)

山形市福祉推進部長寿支援課

令和5年6月

# 1. 調査の概要と回収結果について

## (1) 調査の目的

「山形市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における地域を含めた課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討する必要があります。本調査は、計画策定に必要な将来推計の基礎資料を得ることを目的としています。

## (2) 調査の内容

### 1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（以下「ニーズ調査」という。）

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域包括ケアシステム構築のための地域課題の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

|       |  |
|-------|--|
| 調査対象者 | 令和5年1月5日現在、山形市に居住する65歳以上の一般高齢者及び要支援1・2認定者（要介護1～5認定者を除く）14,000人を無作為抽出 |
| 調査方法  | 郵送方法による調査により、令和5年2月21日～令和5年3月20日に実施                                  |

### 2) 在宅介護実態調査

介護する家族に対するアンケートを実施し、「地域包括ケアの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を含めて、介護給付サービスをはじめ各種類の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。

|       |   |
|-------|---|
| 調査対象者 | 令和5年1月8日現在、山形市に居住する65歳以上の要支援1・2認定者及び要介護1～5認定者8,167人を無作為抽出 |
| 調査方法  | 郵送方法による調査により、令和5年2月28日～令和5年3月27日に実施                       |

※なお、資料中の「8期」は前回第8期計画策定に向けた令和2年実施のニーズ調査・在宅介護実態調査の結果を、「9期」は上記の今回調査の結果を指します。

## (3) 調査票の配布と回答状況

本調査の回答状況は下記のとおりです。

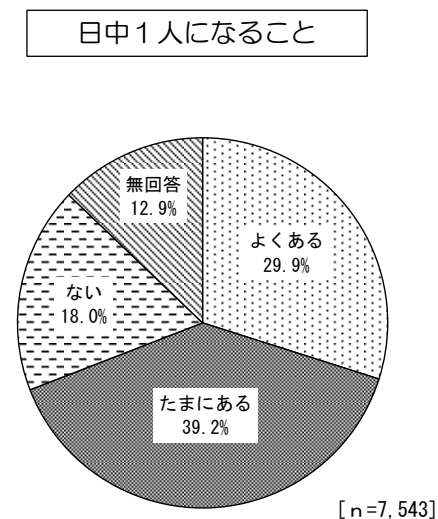
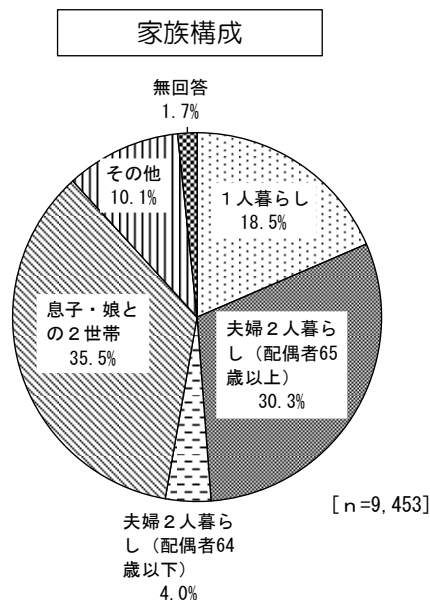
|          | 調査対象者数（人） | 調査票の配布数（人） | 有効回答数（人） | 有効回答率（％） |
|----------|-----------|------------|----------|----------|
| ニーズ調査    | 71,067    | 14,000     | 9,453    | 67.5     |
| 在宅介護実態調査 | 10,170    | 8,167      | 4,046    | 49.5     |

## 2. 調査結果について〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〕

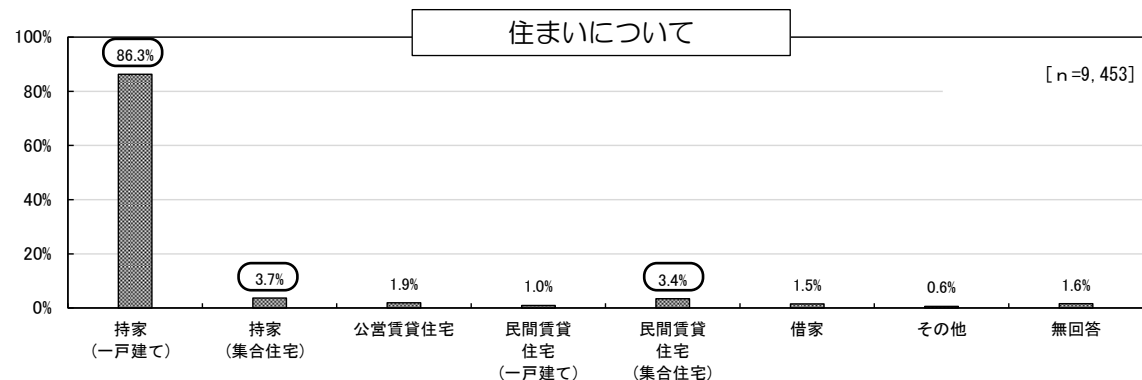
### (1) 家族や生活状況について

回答があった高齢者の家族構成をみると、「息子・娘との2世帯」(35.5%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(30.3%)、「1人暮らし」(18.5%)となっており、「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」を合わせた48.8%が高齢者のみの世帯となっています。

日中1人になることの有無は、「たまにある」(39.2%)が最も高く、「よくある」(29.9%)を合わせた69.1%が日中に1人になることがあると回答しています。



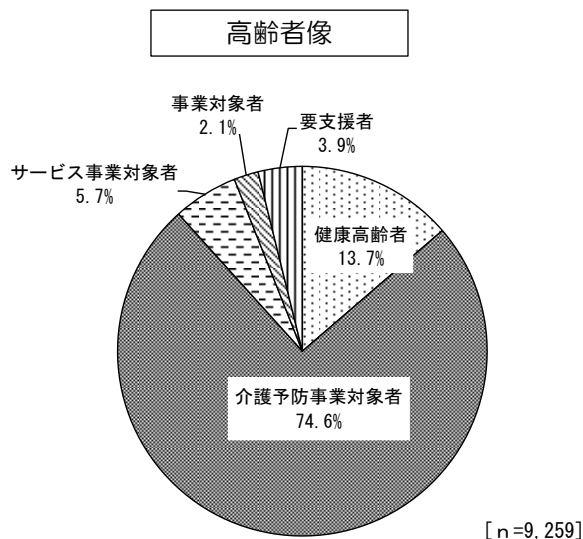
また、住まいについては、最も高い「持家(一戸建て)」(86.3%)がほとんどを占めており、次いで「持家(集合住宅)」(3.7%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(3.4%)となっています。



## (2) 一般高齢者について

### 1) 高齢者像

調査対象である一般高齢者を山形市が設定した判定要件で判定した結果、「健康高齢者」が13.7%、「介護予防事業対象者」が74.6%、「サービス事業対象者」が5.7%となっています。



#### 【健康高齢者】

「運動器の機能低下」、「低栄養」、「口腔機能低下」、「閉じこもり」、「認知機能低下」、「うつ」の6つのリスクのいずれにも該当しなかった一般高齢者

#### 【介護予防事業対象者】

6つのリスクのいずれかに該当した一般高齢者（サービス事業対象者を除く）

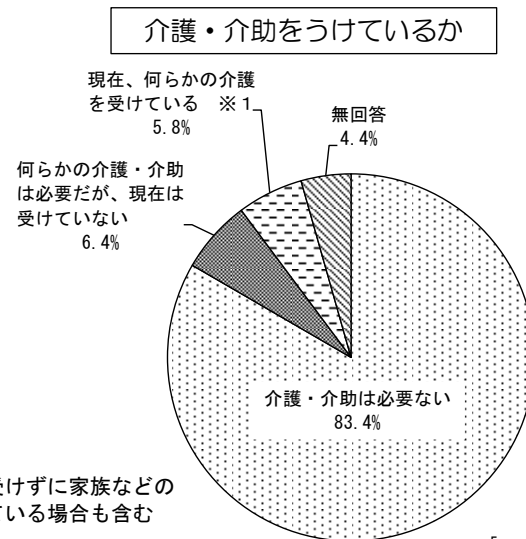
#### 【サービス事業対象者】

以下の3つの要件をすべて満たす一般高齢者

- ・ 6つのリスクのいずれかに該当
- ・ 一人暮らし、高齢者夫婦のみ、または日中1人になることがよくある
- ・ 普段の生活で介護介助を受けている、または必要としている

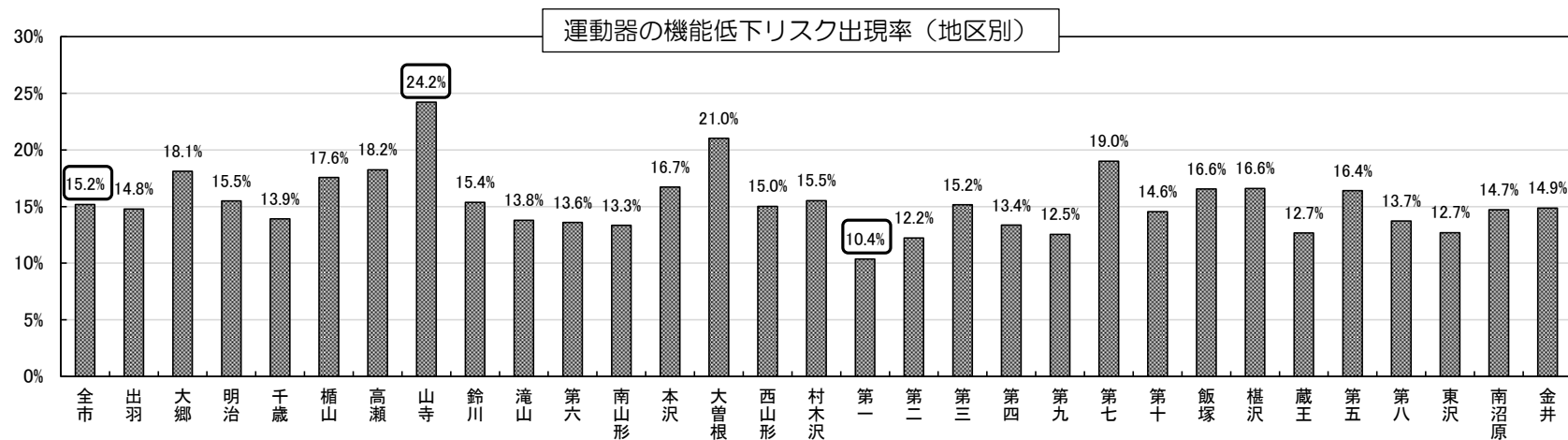
### 2) 日常生活における介護・介助の有無

一般高齢者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」が83.4%と最も高くなっています。



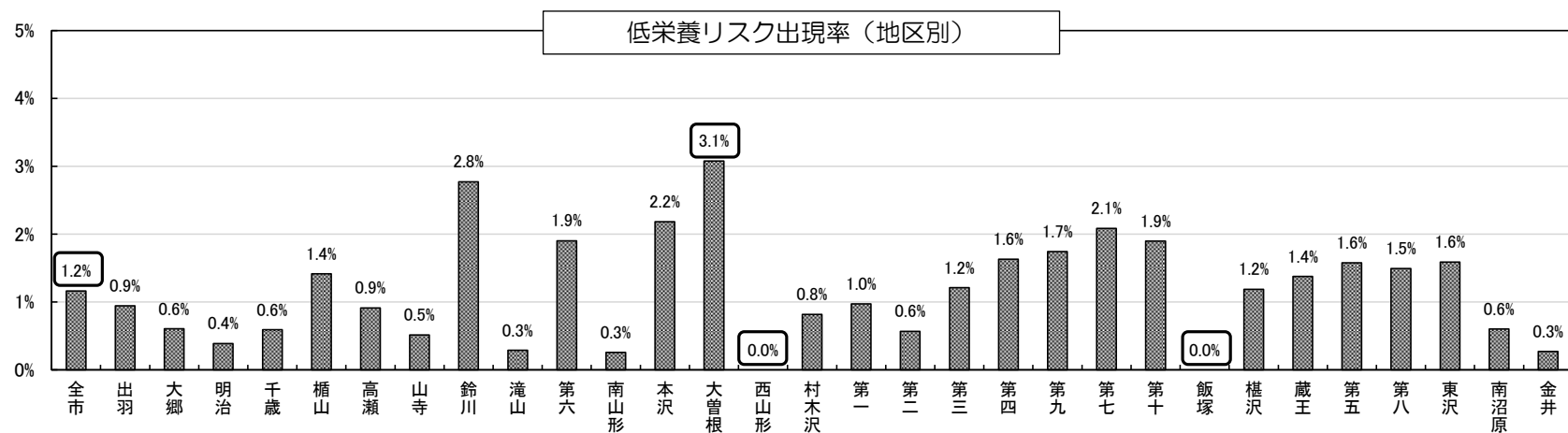
### 3) リスク出現率

市全体及び各地区の一般高齢者の運動器の機能低下リスクの出現率をみると、「全市」では 15.2%、最も出現率が高いのは「山寺地区」で 24.2%、最も低いのは「第一地区」で 10.4%となっています。

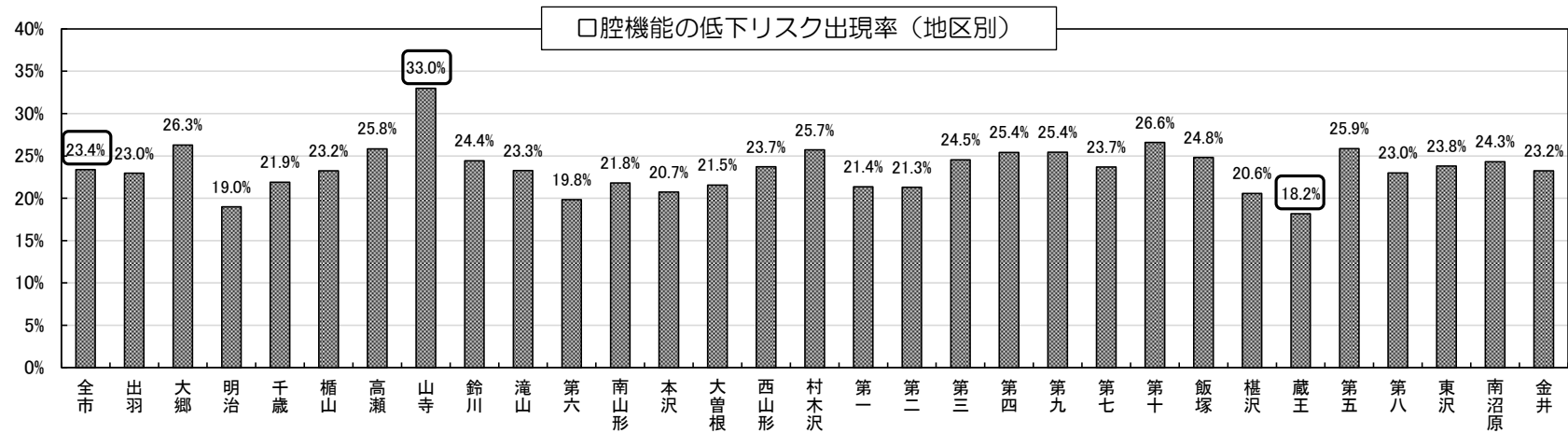


|     |            |
|-----|------------|
| 全市  | [N=9, 453] |
| 出羽  | [N=318]    |
| 大郷  | [N=331]    |
| 明治  | [N=258]    |
| 千歳  | [N=338]    |
| 楯山  | [N=353]    |
| 高瀬  | [N=329]    |
| 山寺  | [N=194]    |
| 鈴川  | [N=397]    |
| 滝山  | [N=348]    |
| 第六  | [N=368]    |
| 南山形 | [N=390]    |
| 本沢  | [N=275]    |
| 大曽根 | [N=195]    |
| 西山形 | [N=253]    |
| 村木沢 | [N=245]    |
| 第一  | [N=309]    |
| 第二  | [N=352]    |
| 第三  | [N=330]    |
| 第四  | [N=307]    |
| 第九  | [N=287]    |
| 第七  | [N=384]    |
| 第十  | [N=316]    |
| 飯塚  | [N=290]    |
| 榎沢  | [N=253]    |
| 蔵王  | [N=363]    |
| 第五  | [N=317]    |
| 第八  | [N=335]    |
| 東沢  | [N=315]    |
| 南沼原 | [N=333]    |
| 金井  | [N=370]    |

低栄養リスクの出現率をみると、「全市」では 1.2%、最も高いのは「大曽根地区」で 3.1%、最も低いのは「西山形地区」、「飯塚地区」で 0.0%となっています。

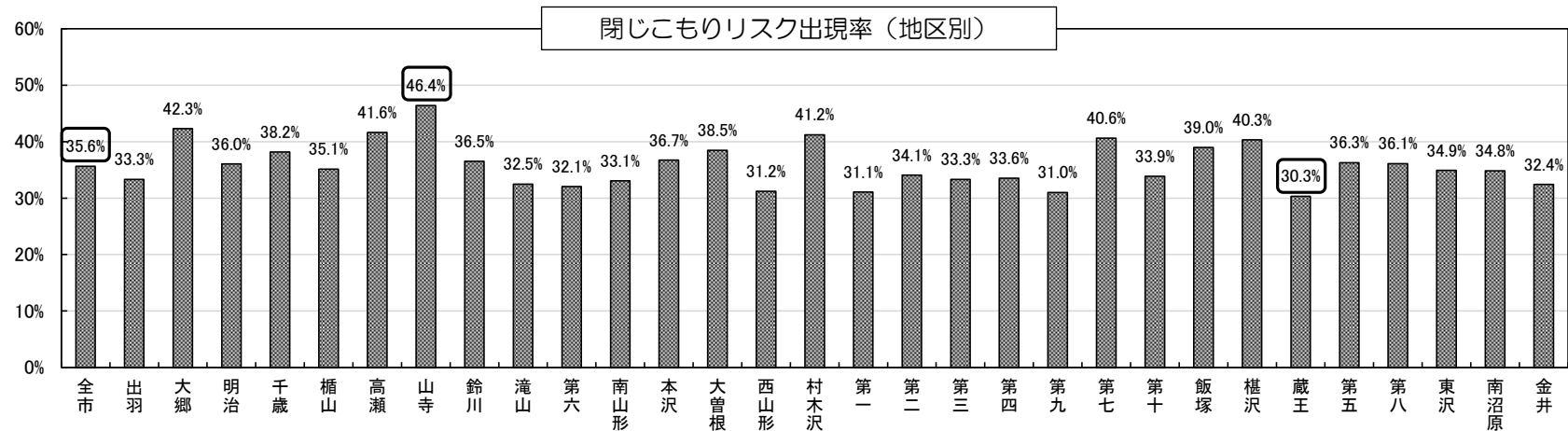


口腔機能の低下リスクの出現率をみると、「全市」では23.4%、最も高いのは「山寺地区」で33.0%、最も低いのは「蔵王地区」で18.2%となっています。

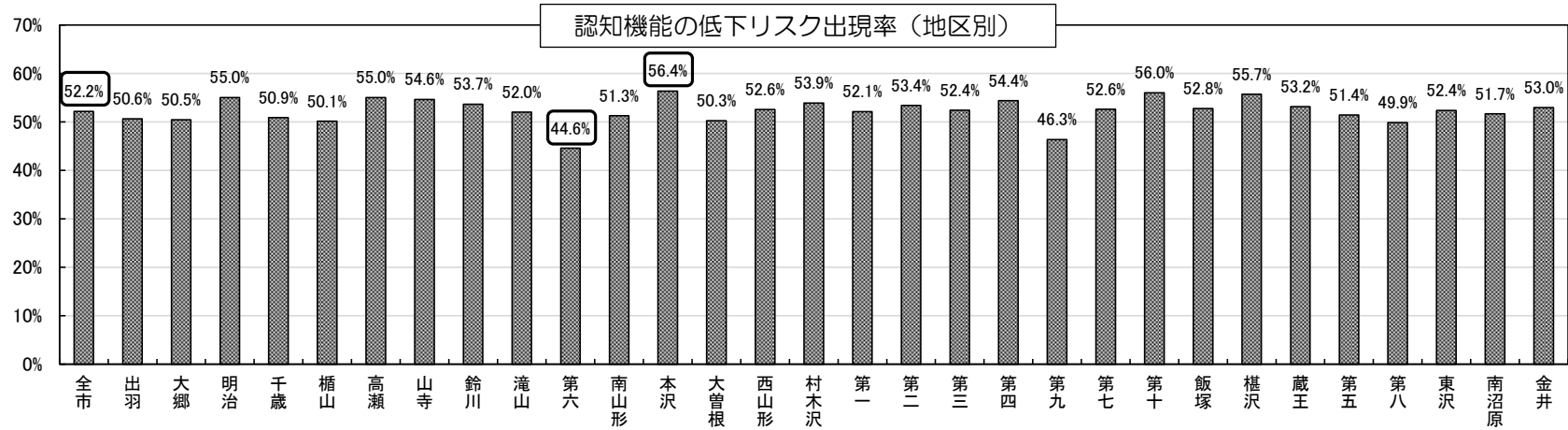


- 全市 [N=9, 453]
- 出羽 [N=318]
- 大郷 [N=331]
- 明治 [N=258]
- 千歳 [N=338]
- 楯山 [N=353]
- 高瀬 [N=329]
- 山寺 [N=194]
- 鈴川 [N=397]
- 滝山 [N=348]
- 第六 [N=368]
- 南山形 [N=390]
- 本沢 [N=275]
- 大曽根 [N=195]
- 西山形 [N=253]
- 村木沢 [N=245]
- 第一 [N=309]
- 第二 [N=352]
- 第三 [N=330]
- 第四 [N=307]
- 第九 [N=287]
- 第七 [N=384]
- 第十 [N=316]
- 飯塚 [N=290]
- 榎沢 [N=253]
- 蔵王 [N=363]
- 第五 [N=317]
- 第八 [N=335]
- 東沢 [N=315]
- 南沼原 [N=333]
- 金井 [N=370]

閉じこもりリスクの出現率をみると、「全市」では35.6%、最も高いのは「山寺地区」で46.4%、最も低いのは「蔵王地区」で30.3%となっています。

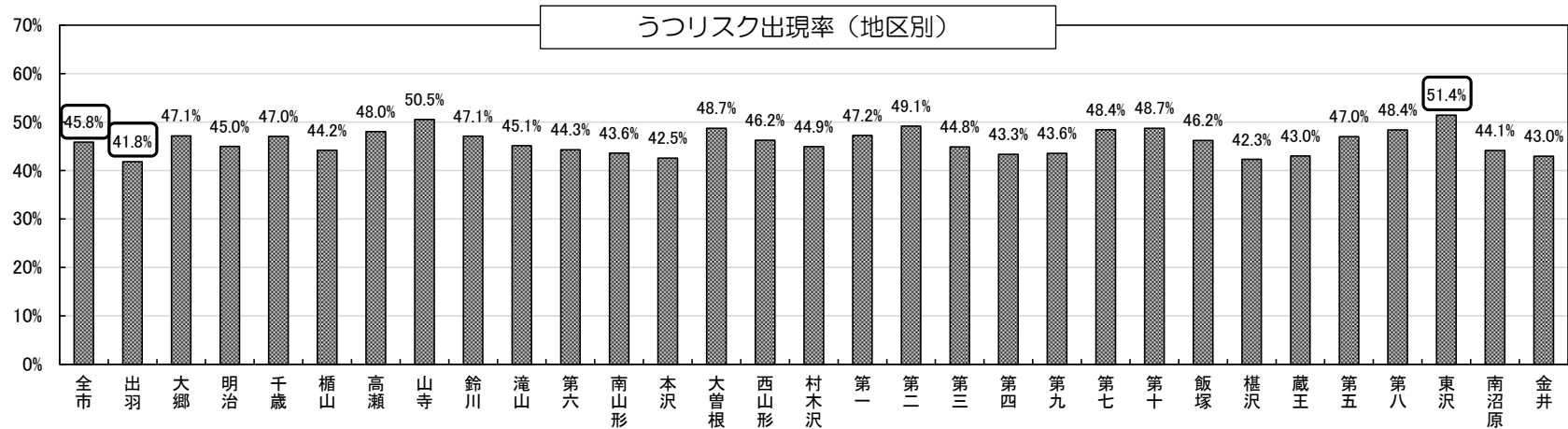


認知機能の低下リスクの出現率をみると、「全市」では52.2%、最も高いのは「本沢地区」で56.4%、最も低いのは「第六地区」で44.6%となっています。



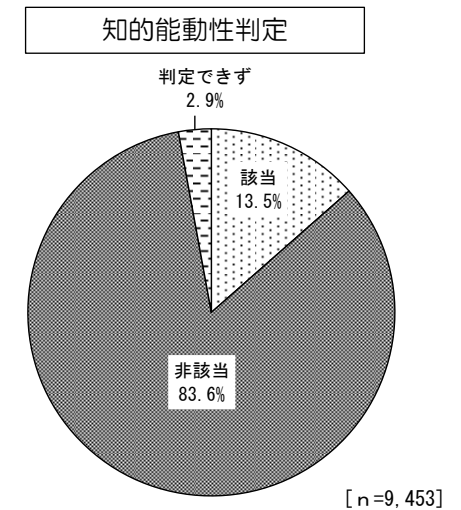
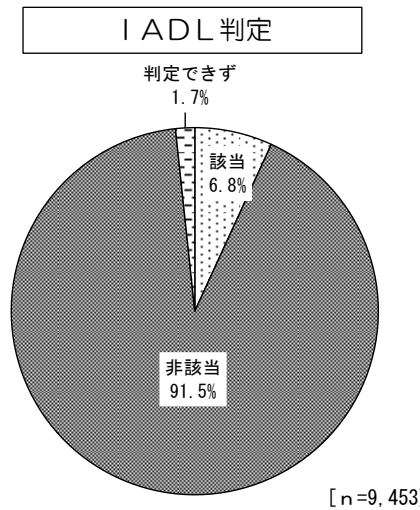
- 全市 [N=9, 453]
- 出羽 [N=318]
- 大郷 [N=331]
- 明治 [N=258]
- 千歳 [N=338]
- 楯山 [N=353]
- 高瀬 [N=329]
- 山寺 [N=194]
- 鈴川 [N=397]
- 滝山 [N=348]
- 第六 [N=368]
- 南山形 [N=390]
- 本沢 [N=275]
- 大曽根 [N=195]
- 西山形 [N=253]
- 村木沢 [N=245]
- 第一 [N=309]
- 第二 [N=352]
- 第三 [N=330]
- 第四 [N=307]
- 第九 [N=287]
- 第七 [N=384]
- 第十 [N=316]
- 飯塚 [N=290]
- 榎沢 [N=253]
- 蔵王 [N=363]
- 第五 [N=317]
- 第八 [N=335]
- 東沢 [N=315]
- 南沼原 [N=333]
- 金井 [N=370]

うつリスクの出現率をみると、「全市」では45.8%、最も高いのは「東沢地区」で51.4%、最も低いのは「出羽地区」で41.8%となっています。



#### 4) IADLと知的能動性

一般高齢者のIADLと知的能動性をみると、IADLが「該当（問題あり）」と判定されたのは6.8%で、「非該当（問題なし）」は91.5%となっており、知的能動性が「該当（問題あり）」と判定されたのは13.5%で、「非該当（問題なし）」は83.6%となっています。

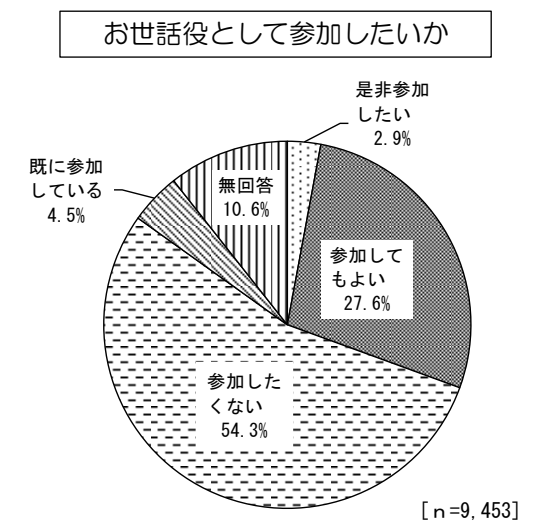
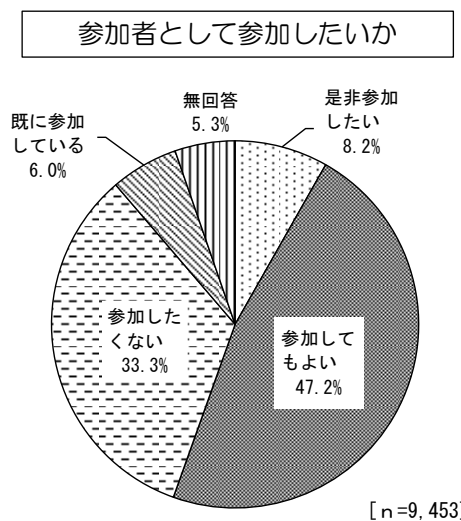


#### 5) 社会参加活動の参加状況

##### ①地域活動への参加意向

一般高齢者の地域活動への参加意向をみると、参加者として参加したいかどうかについては、「是非参加したい」（8.2%）と「参加してもよい」（47.2%）を合わせた55.4%が参加意向を示しており、「既に参加している」（6.0%）も合わせると61.4%となっています。

また、お世話役として参加したいかどうかでは、「是非参加したい」（2.9%）と「参加してもよい」（27.6%）を合わせた30.5%が参加意向を示しており、「既に参加している」（4.5%）も合わせると35.0%となっています。



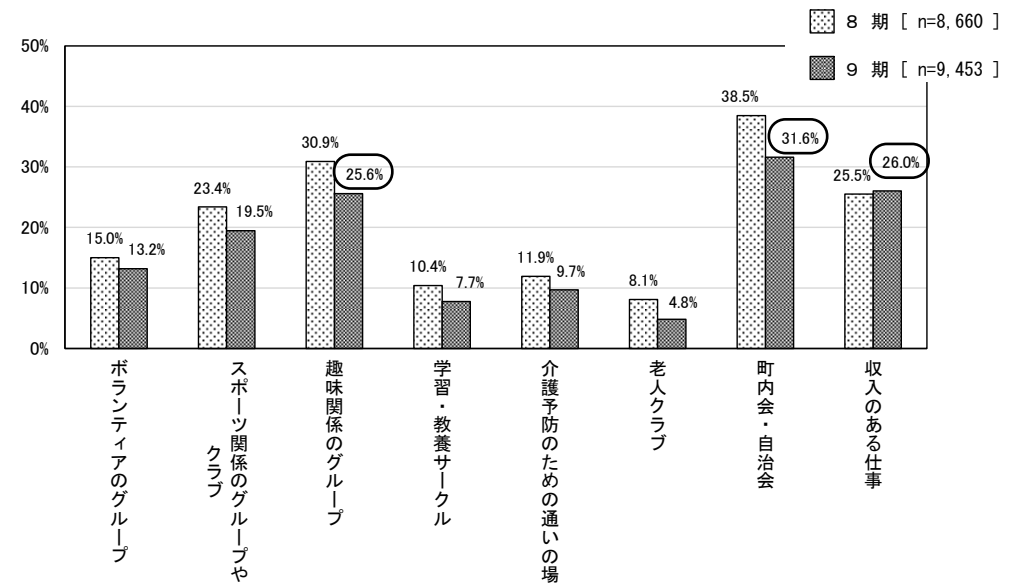


## ②具体的な社会参加活動への参加状況

具体的な社会参加活動への参加状況をみると、参加率は「町内会・自治会」(31.6%)が最も高く、次いで「収入のある仕事」(26.0%)、「趣味関係のグループ」(25.6%)となっています。

また、8期と比較すると、「収入のある仕事」を除き、参加率は低下しています。

社会参加活動の参加状況（前回比較）

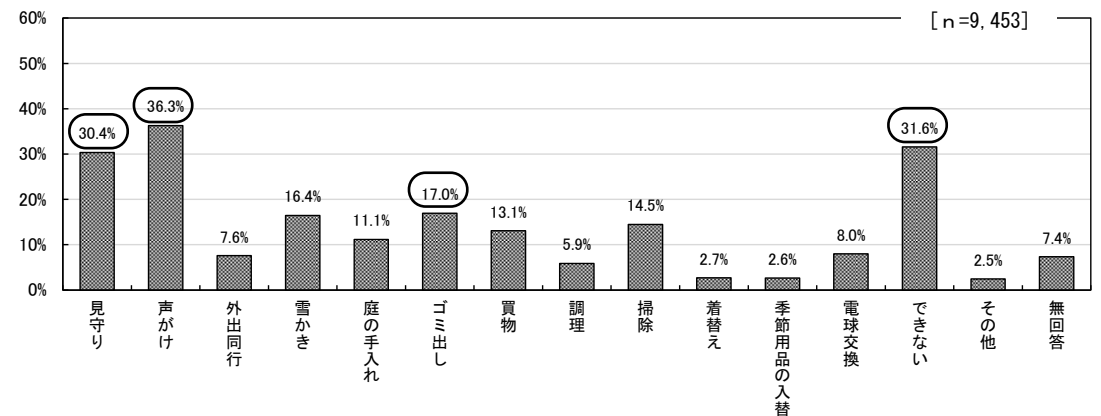


## ③自分が地域で支援できると思うこと

一般高齢者が自分は地域でどんな支援ができると思うかをみると、「声かけ」(36.3%)が最も高く、次いで「見守り」(30.4%)、「ゴミ出し」(17.0%)となっています。

一方、「できない」は31.6%となっています。

自分が地域でできる支援

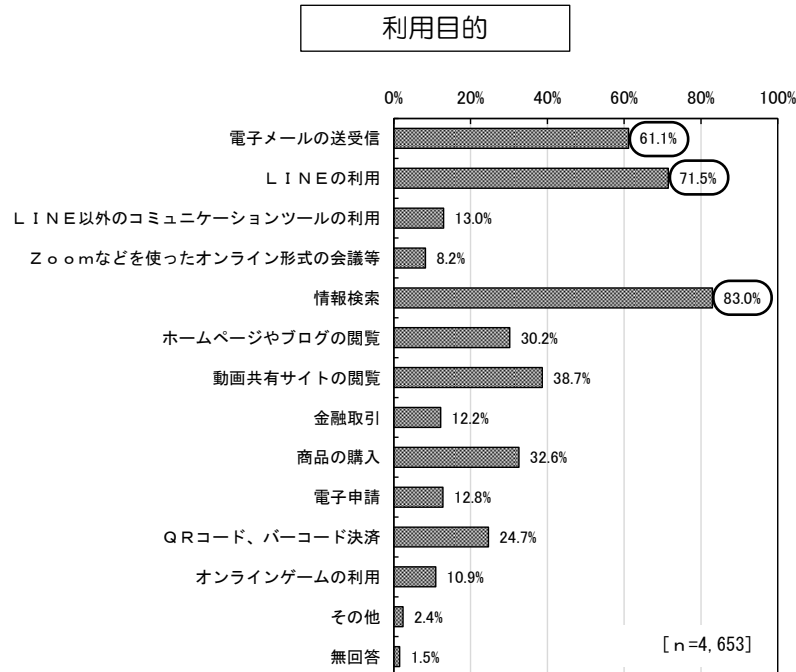
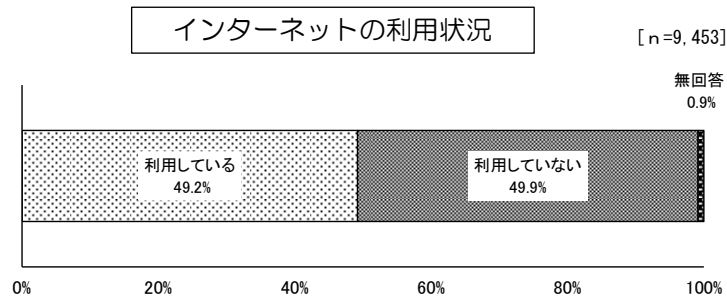


### (3) 山形市独自設問について

#### 1) インターネットの利用状況

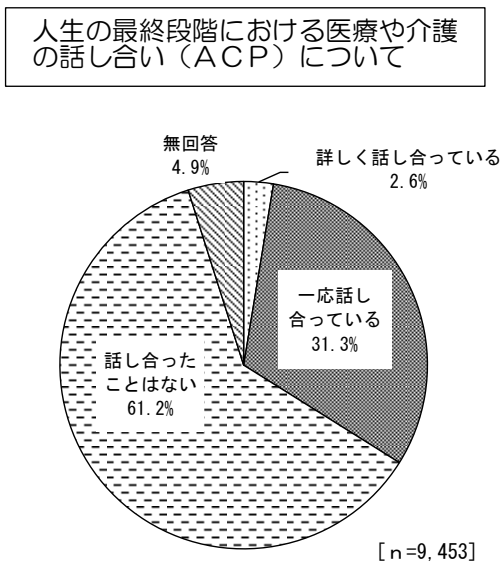
インターネットの利用状況を見ると、「利用している」が49.2%、「利用していない」が49.9%となっています。

利用目的としては、「情報検索」(83.0%)が最も高く、次いで「LINEの利用」(71.5%)、「電子メールの送受信」(61.1%)となっています。



#### 2) 人生の最終段階における医療や介護の話し合い (ACP) について

人生の最終段階における医療や介護について家族や医療介護関係者と話し合ったことがあるかをみると、「詳しく話し合っている」は2.6%、「一応話し合っている」が31.3%で、「話し合ったことはない」が61.2%と6割を超えています。



アドバンス・ケア・プランニング  
ACP (人生会議)

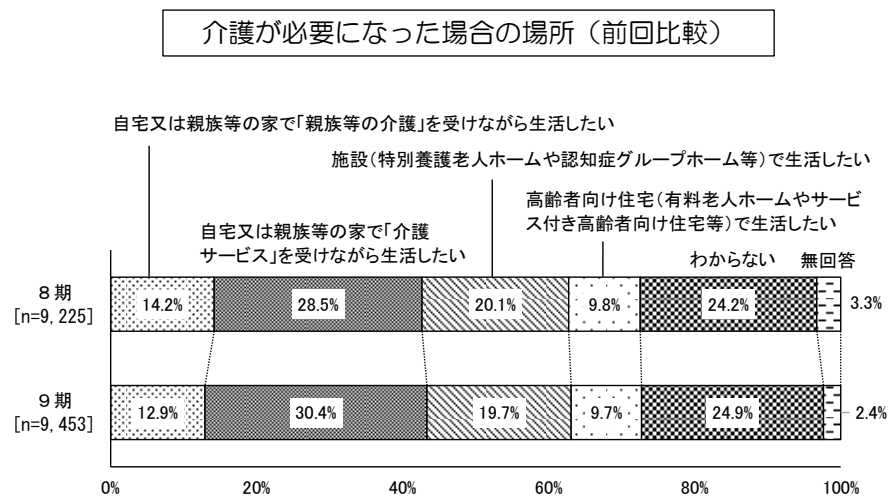
もしものときのために、あなたの大切にしていることや、あなたが望む医療や介護について、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うこと

### 3) 介護が必要になった場合の場所

#### ①介護が必要になった場合の場所

介護が必要になった場合にどこで生活したいかをみると、9期では「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい」が30.4%で最も高く、8期からは1.9ポイント増加しています。

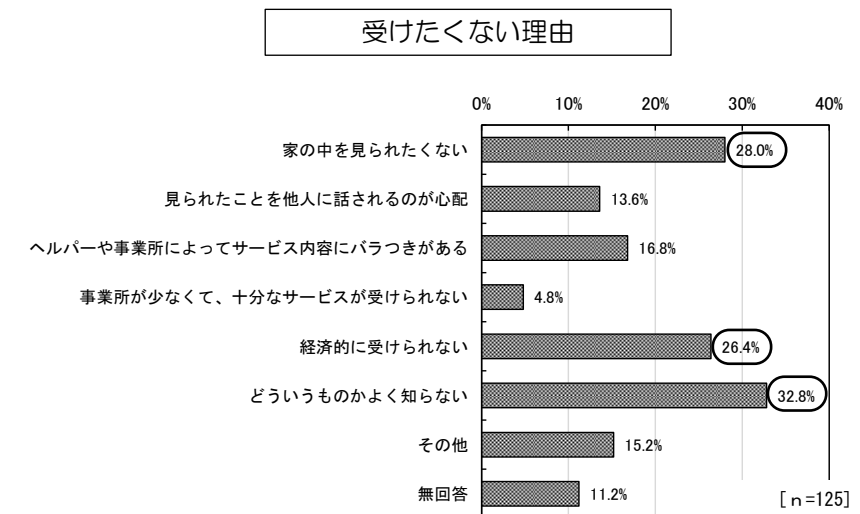
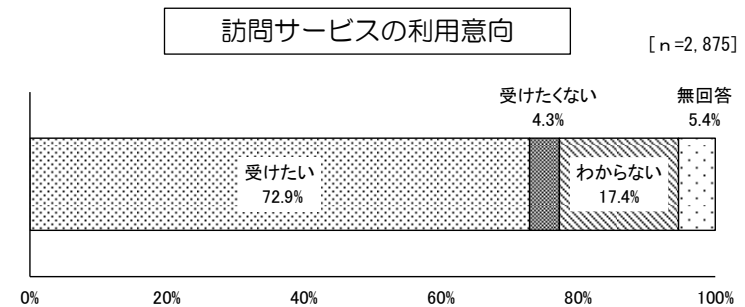
一方、「自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら生活したい」は12.9%と8期から1.3ポイント減少しており、「施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で生活したい」が19.7%と8期から0.4ポイント減少しています。



#### ②訪問サービスの利用意向

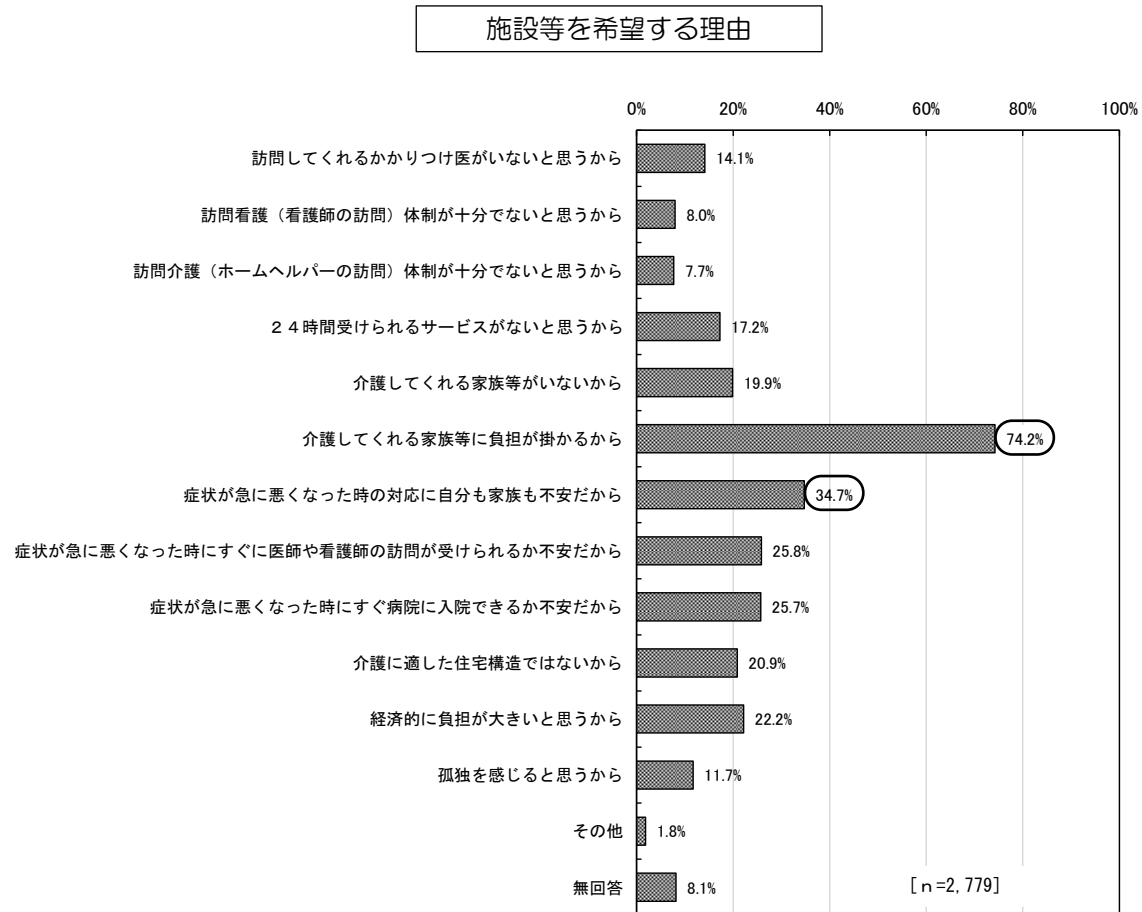
「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい」と答えた方の訪問介護サービスの利用意向をみると、「受けたい」が72.9%となっています。

また、「受けたくない」（4.3%）と回答した理由では、「どういものかよく知らない」（32.8%）が最も高く、次いで「家の中を見られたくない」（28.0%）、「経済的に受けられない」（26.4%）となっています。



### ③施設等での生活を希望する理由

施設または高齢者向け住宅で生活したいと答えた方の理由をみると、「介護してくれる家族等に負担が掛かるから」（74.2%）が最も高く、次いで「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安だから」（34.7%）となっています。



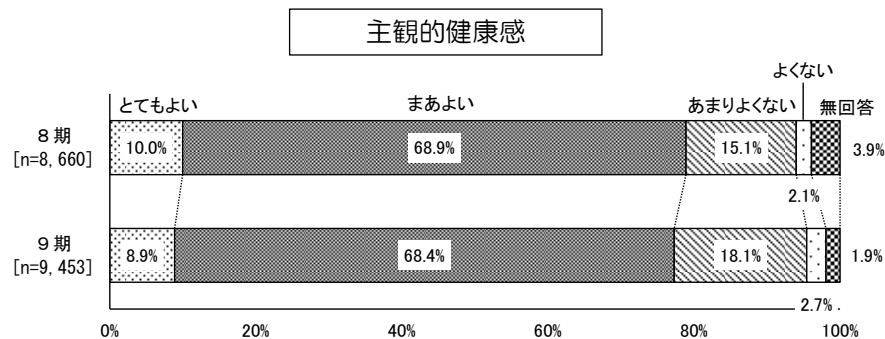
#### (4) その他ビジョンに係る調査結果について

##### 1) 主観的健康感と幸福感

###### ①主観的健康感

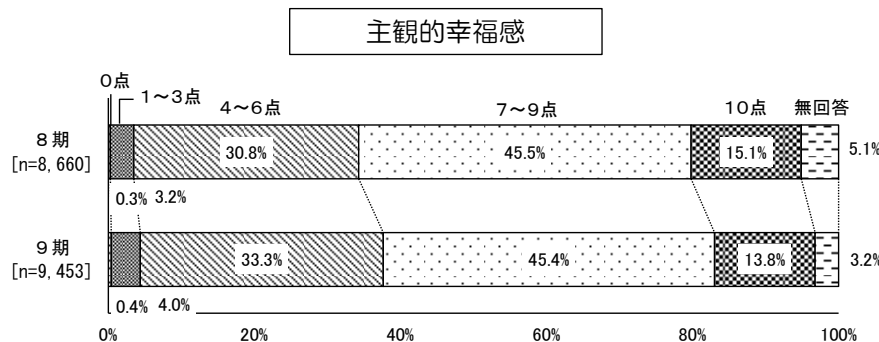
主観的健康感をみると、「とてもよい」(8.9%)と「まあよい」(68.4%)を合わせると77.3%となっており、8期からは1.6ポイント減少しています。

一方、「よくない」(2.7%)と「あまりよくない」(18.1%)を合わせると20.8%となっており、8期からは3.6ポイント増加しています。



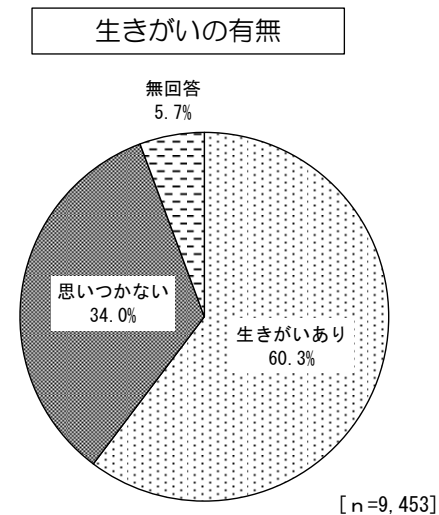
###### ②主観的幸福感

主観的幸福感をみると、7点以上の回答が59.2%となっており、8期からは1.4ポイント減少しています。



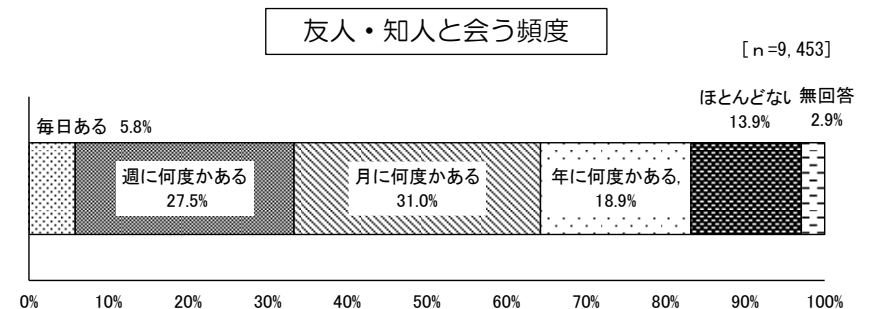
##### 2) 生きがいの有無

生きがいの有無をみると、「生きがいあり」が60.3%となっています。



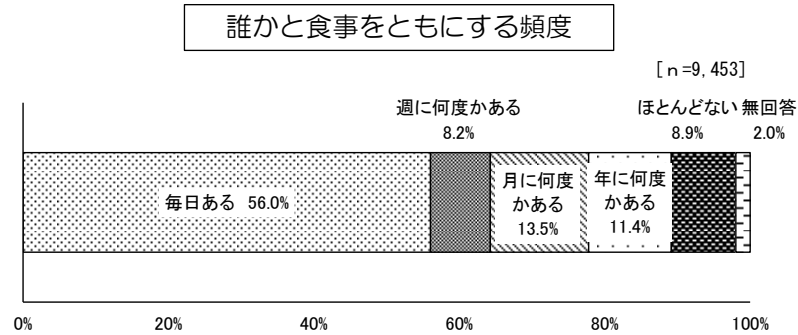
##### 3) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度をみると、「毎日ある」(5.8%)と「週に何度かある」(27.5%)を合わせて33.3%となっています。



#### 4) 誰かと食事をとにもする頻度

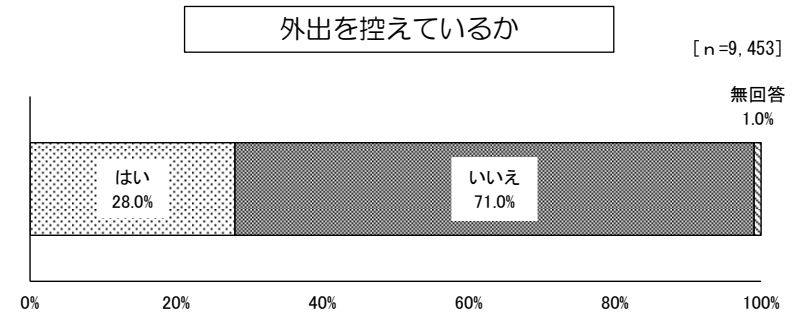
誰かと食事をとにもする頻度をみると、「毎日ある」(56.0%)と「週に何度かある」(8.2%)と「月に何度かある」(13.5%)と「年に何度かある」(11.4%)を合わせて77.7%となっています。



#### 6) 外出を控えているか

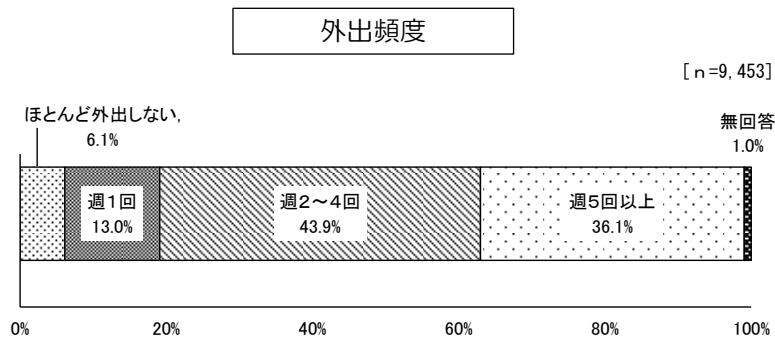
外出を控えているかどうかをみると、「いいえ(控えていない)」が71.0%となっています。

また「はい(控えている)」(28.0%)と回答した理由としては、「足腰などの痛み」(41.7%)が最も高く、次いで「その他」(33.6%)、「外での楽しみがない」(18.0%)となっています。

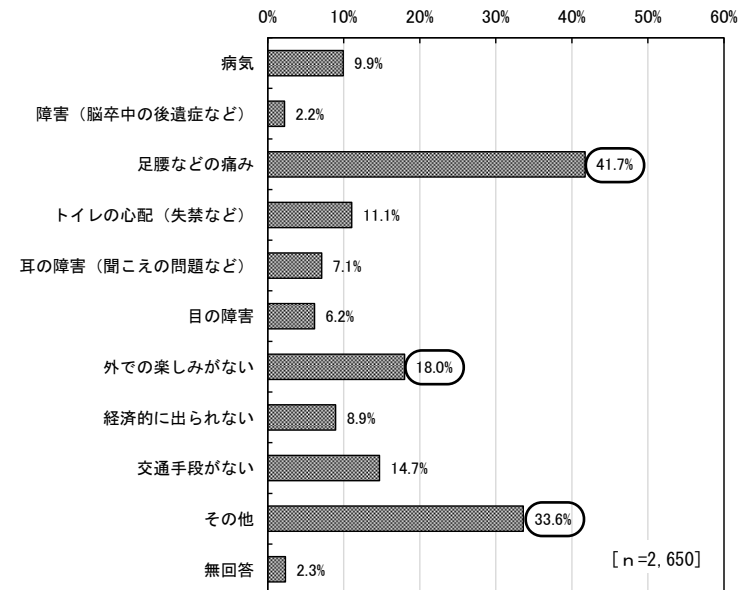


#### 5) 外出頻度

外出頻度をみると、「週2~4回」(43.9%)と「週5回以上」(36.1%)が合わせて80.0%となっています。

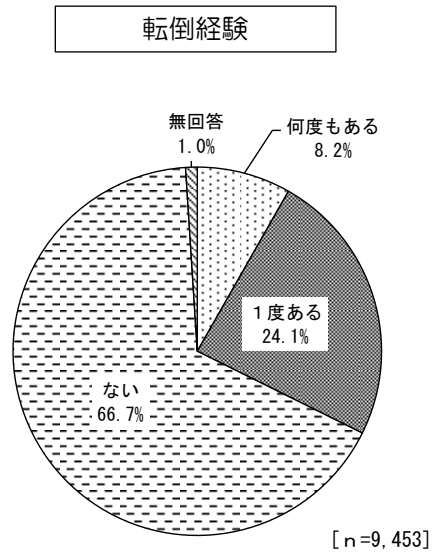


控えている理由



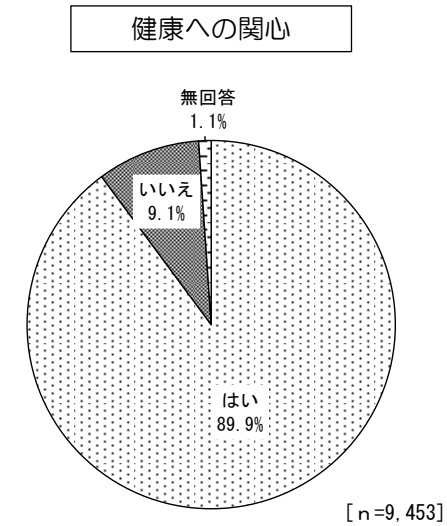
## 7) 転倒経験

転倒経験をみると、「ない」が66.7%となっており、「何度もある」(8.2%)と「1度ある」(24.1%)を合わせて32.3%となっています。



## 8) 健康への関心

健康についての記事や番組に関心があるかどうかをみると、「はい(関心がある)」が89.9%となっています。



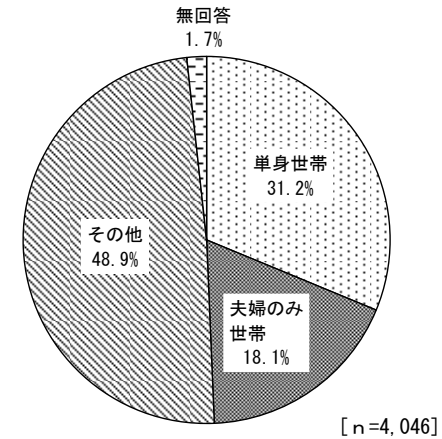
### 3. 調査結果について〔在宅介護実態調査〕

#### (1) ご本人（要介護者）の状況について

##### 1) 要介護者の世帯状況

要介護者の世帯類型をみると、「単身世帯」(31.2%)、「夫婦のみ世帯」(18.1%)を合わせて49.3%が高齢者だけの世帯となっています。

要介護者の世帯状況

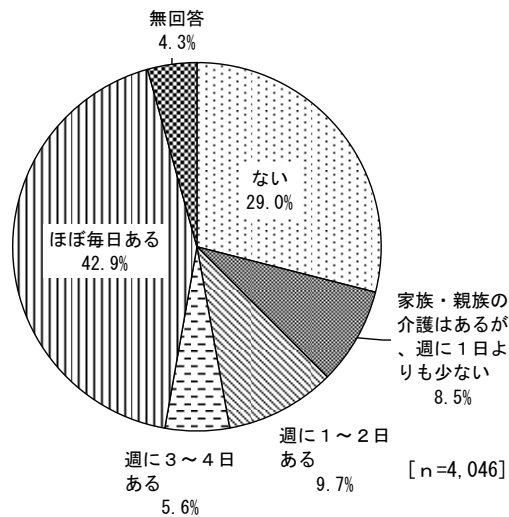


##### 2) 家族介護の頻度

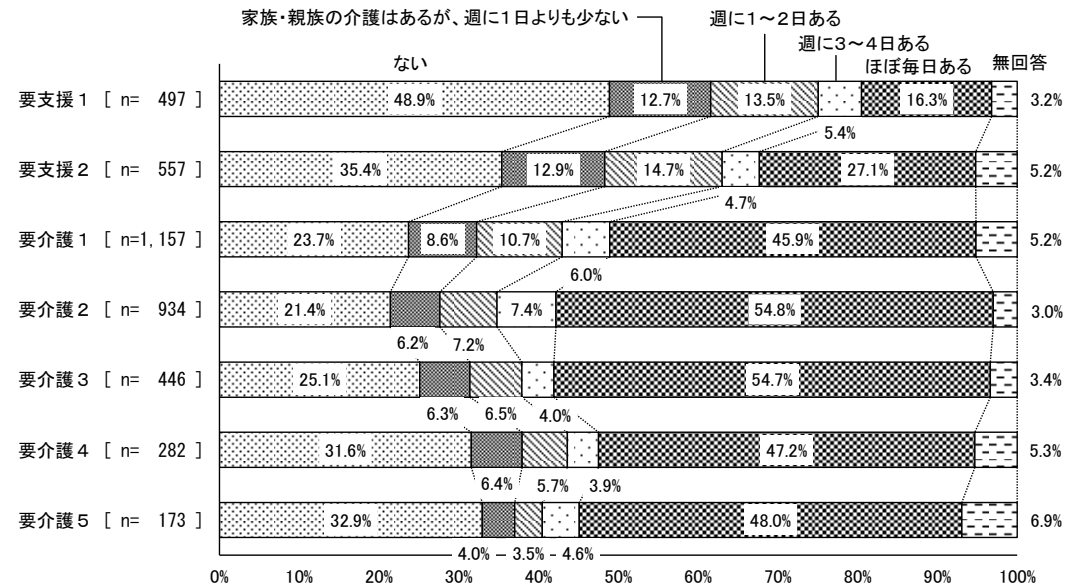
家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(42.9%)が最も高く、次いで「ない」(29.0%)、「週に1～2日ある」(9.7%)の順となっています。

要介護度別にみると、要介護1～3で頻度が高く、特に要介護2と3では5割以上がほぼ毎日介護をしています。

家族介護の頻度



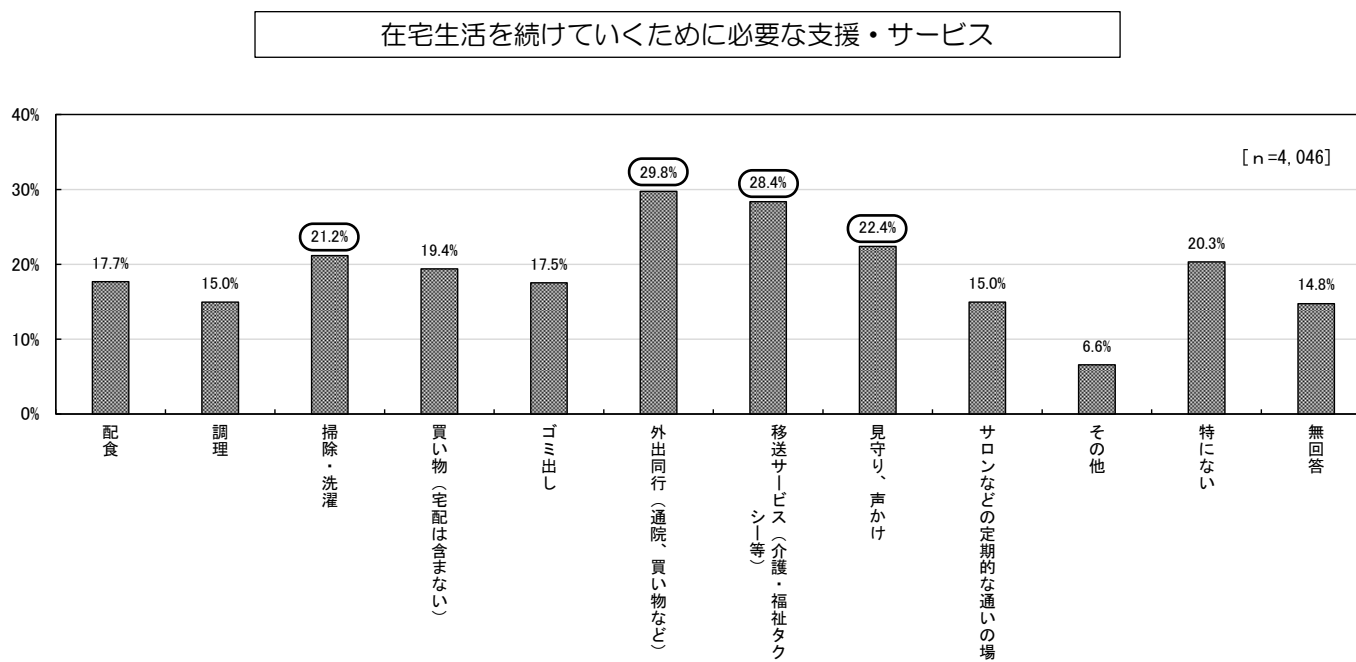
家族介護の頻度（要介護度別）





### 3) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスについて

在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスについてみると、「外出同行（通院、買い物など）」（29.8%）が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（28.4%）、「見守り、声かけ」（22.4%）、「掃除・洗濯」（21.2%）の順となっています。



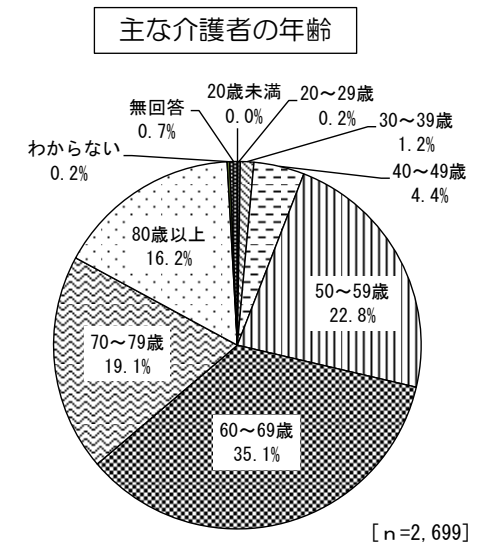
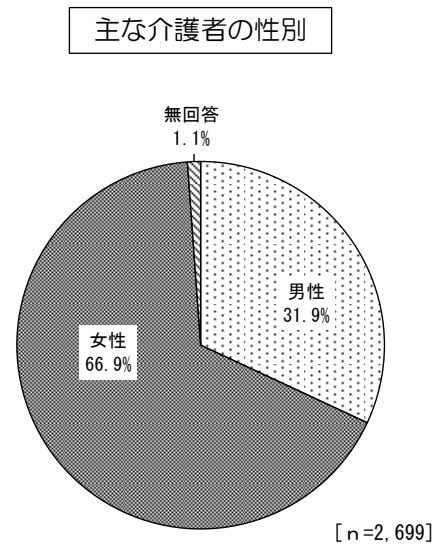
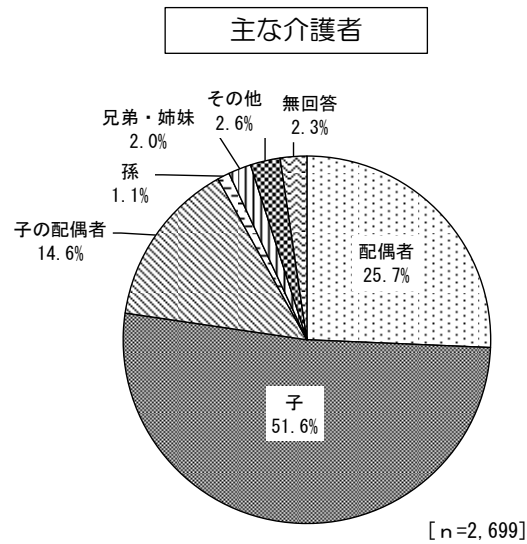
## (2) 主な介護者の状況について

### 1) 主な介護者の属性について

家族介護を受けている要介護者からみた主な介護者は、「子」(51.6%)が最も高く、次いで「配偶者」(25.7%)、「子の配偶者」(14.6%)の順となっています。

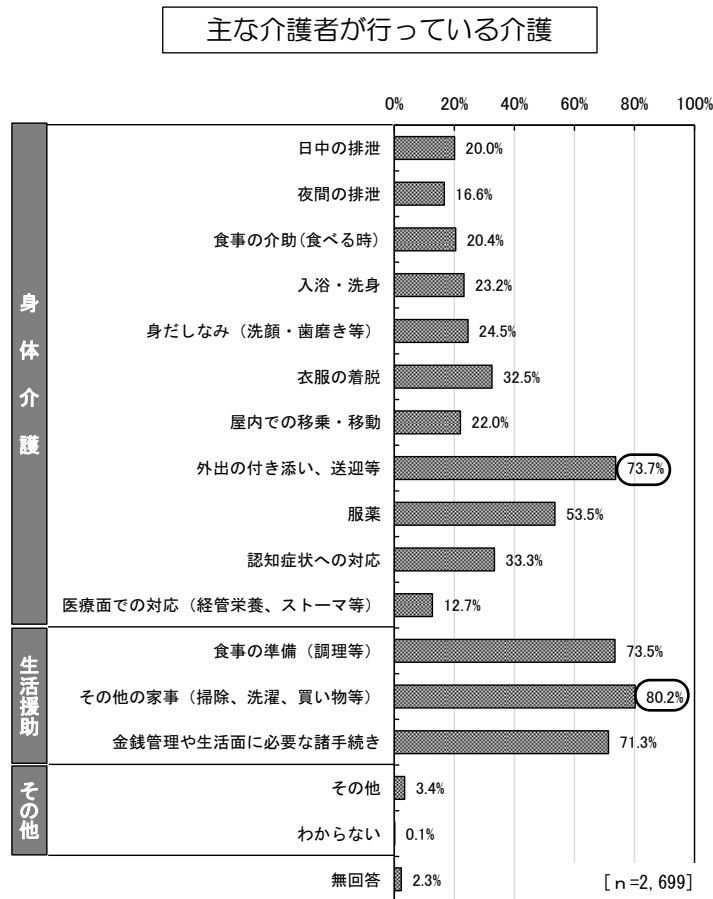
主な介護者の性別は、「女性」(66.9%)が「男性」(31.9%)と比べて約2倍となっています。

主な介護者の年齢は、「60～69歳」(35.1%)が最も高く、次いで「50～59歳」(22.8%)、「70～79歳」(19.1%)、「80歳以上」(16.2%)の順となっています。



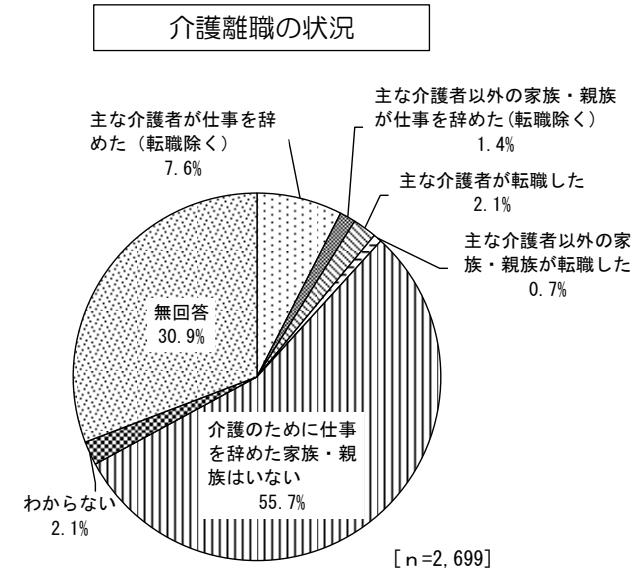
## 2) 介護実態について

主な介護者の方が行っている介護をみると、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(73.7%)が高くなっており、生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(80.2%)が高くなっています。



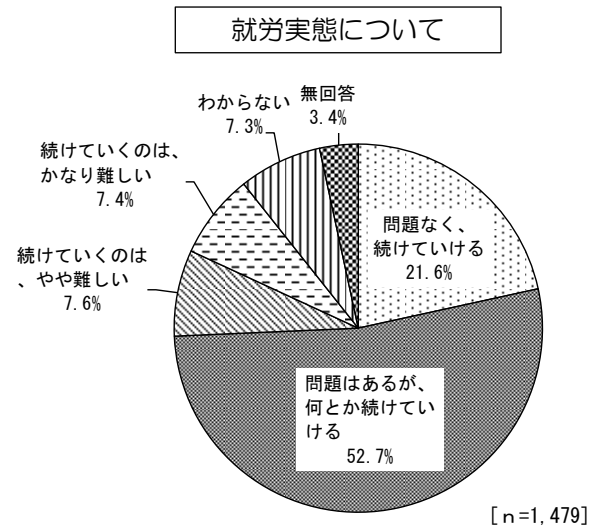
## 3) 介護離職の状況について

介護離職の状況をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(55.7%)が最も高くなっています。



#### 4) 就労実態について

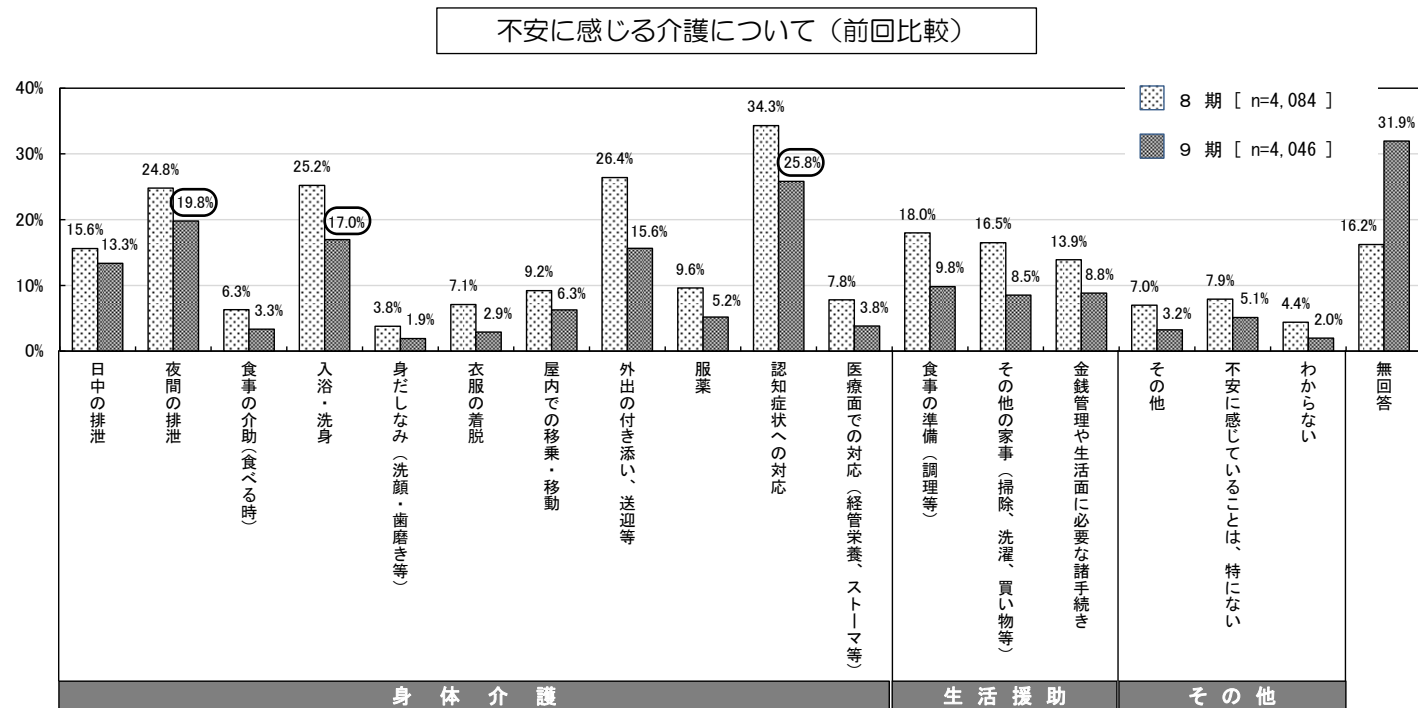
今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」(52.7%)が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(21.6%)の順となり、「続けていくのは、やや難しい」(7.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(7.4%)を合わせた15.0%の方が今後の継続は困難と回答しています。



## 5) 不安を感じる介護について

主な介護者が不安を感じる介護内容をみると、「認知症状への対応」(25.8%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(19.8%)、「入浴・洗身」(17.0%)となっています。(「無回答」を除きます。)

前回調査と比較すると、最も割合が高い「認知症状への対応」は同様ですが、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」については、割合が低くなっています。



### (3) 山形市独自設問について

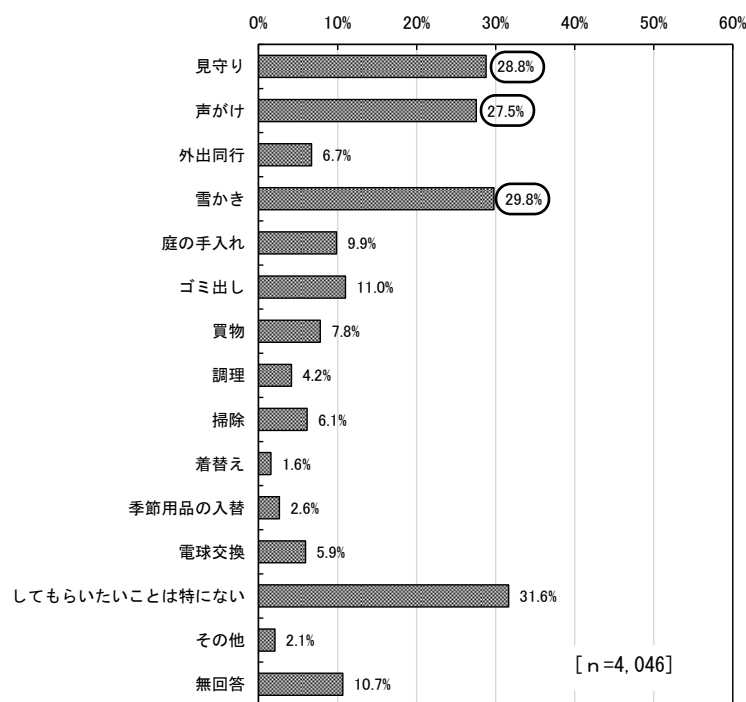
#### 1) 近隣にお願いしたいことについて

要介護者が近隣にお願いできるとしたらお願いしたいことをみると、「雪かき」(29.8%)、「見守り」(28.8%)、「声かけ」(27.5%)の割合が高くなっています。(「してもらいたいことは特にない」を除きます。)

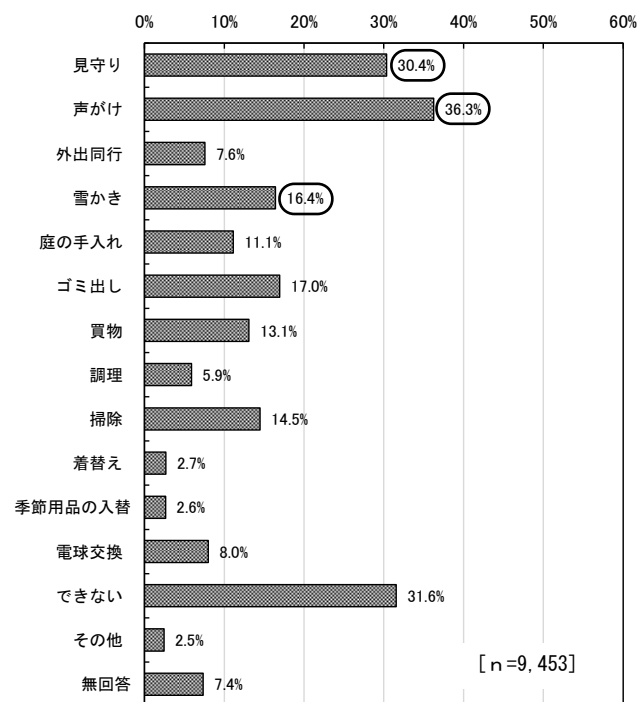
また、一般高齢者を対象とした介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の地域でどんな支援ができるかをみると、「声かけ」(36.3%)、「見守り」(30.4%)の割合が高くなっています。(「できない」を除きます。)

「雪かき」を除く支援については、要介護者のニーズと地域で支援できる内容が一致しており、住民支え合い活動等による要介護者の生活支援が概ね期待できます。

〈在宅介護実態調査より〉  
要介護者が近隣にお願いしたいこと



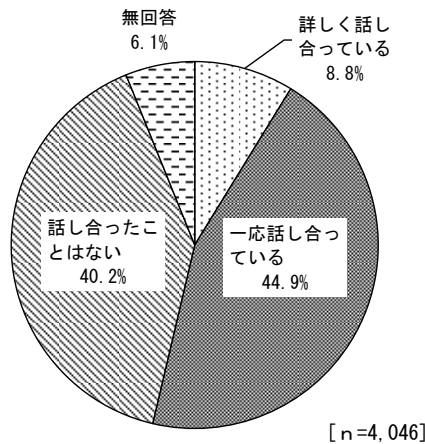
〈介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より〉  
一般高齢者が支援できること



## 2) 人生の最終段階における医療や介護（ACP）について

人生の最終段階における医療や介護について家族や医療介護関係者と話し合ったことがあるかをみると、「一応話し合っている」（44.9%）が最も高くなっていますが、「話し合ったことはない」（40.2%）も4割となっています。

人生の最終段階における医療や介護（ACP）



アドバンス・ケア・プランニング  
ACP（人生会議）

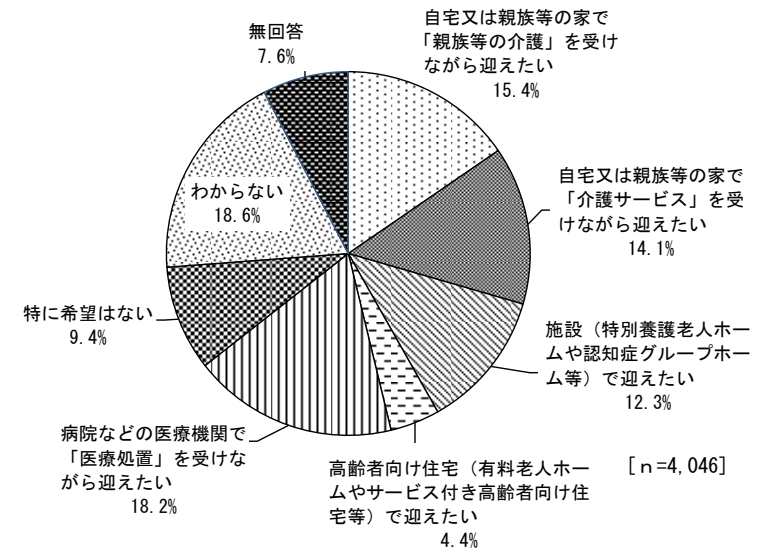
もしものときのために、あなたの大切にしていることや、あなたが望む医療や介護について、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うこと

## 3) 人生の最期に生活したい場所について

もしもの時はどこでどのように人生の最期を迎えることを希望するかをみると、「病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい」（18.2%）が最も高くなっています。

一方、「自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい」（15.4%）と「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい」（14.1%）を合わせた29.5%の方が自宅又は親族の家で迎えることを希望しています。

人生の最期に生活したい場所

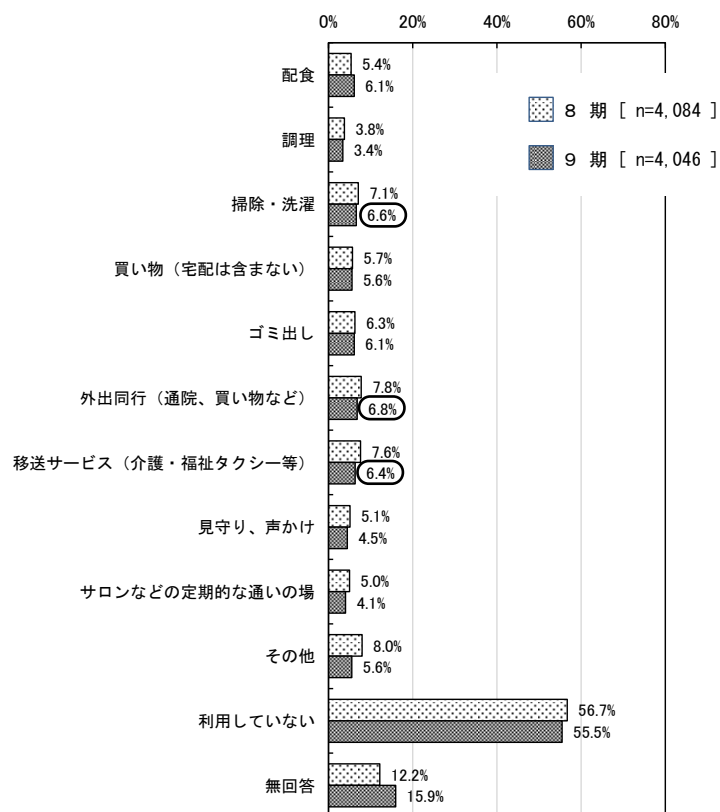


#### (4) その他、ビジョンに係る調査結果について

##### 1) 介護保険サービス以外に利用しているサービスについて

介護保険サービス以外に利用しているサービスについてみると、8期と傾向に大きな変化はなく、「利用していない」が半数以上となっています。利用されているサービスでは、「外出同行（通院、買い物など）」（6.8%）、「掃除・洗濯」（6.6%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.4%）の割合が高くなっています。

介護保険サービス以外に利用しているサービス（前回比較）

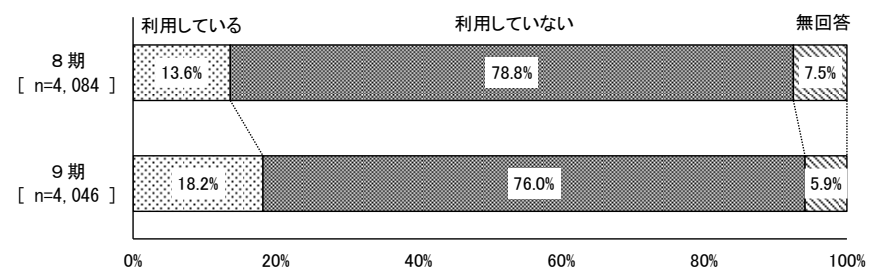


##### 2) 訪問診療の利用状況について

訪問診療の利用状況をみると、「利用している」（18.2%）は前回調査より4.6ポイント高くなっています。

一方、「利用していない」（76.0%）は前回調査より2.8ポイント低くなっていますが、前回と同様に、7割以上の方が訪問診療を利用していません。

訪問診療の利用状況（前回比較）



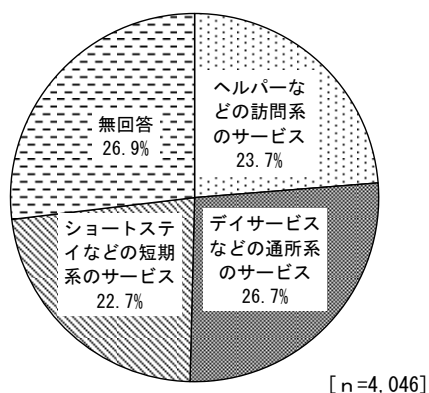


### 3) 在宅生活を続けていくために必要な介護サービスについて

在宅生活を続けていくために必要な介護サービスについてみると、「デイサービスなどの通所系のサービス」(26.7%)が最も高くなっています。

(「無回答」を除きます。)

在宅生活を続けていくために必要な介護サービス



### 4) 施設入所の検討状況について

施設等への入所・入居を検討しているかをみると、8期と同様に「入所・入居は検討していない」(58.5%)が最も高くなっています。

また、「入所・入居を検討している」(16.7%)では8期より2.5ポイント低くなっていますが、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(14.2%)では8期より2.8ポイント高くなっています。

施設入所の検討状況（前回比較）

